

# 高齢者・障がいのある人の 自立生活を支えるウェルフェアテクノロジー

Welfare technology to support independent living of the elderly and people with disabilities

**日時：2019年10月10日（木）13:00-14:30**

Date & Time : Thursday, October 10th, 2019. 13:00-14:30

**場所：大阪大学人間科学研究科  
ラーニングコモンズ（北館2階）**

Place : Learning Commons Room (North Building 2F)  
Graduate School of Human Sciences, Osaka University

## 講演者 (speaker)

**バーバラ・クライン教授（ドイツ・フランクフルト応用科学大学）**  
**Prof. Dr. Barbara Klein (Frankfurt University of Applied Sciences)**

ウェルフェア・テクノロジー研究の最先端に携っておられるクライン教授に、ドイツをはじめ日本を含む国際的な研究・実践の動向、また福祉現場での活用例などをお話いただきます。

日本で開発された動物型コミュニケーションロボット「PARO」（アザラシ型）を用いた研究のお話もきくことができます。

**学部生・院生・教職員の皆様、大歓迎です。**

**講演は英語ですが、日本語での補足説明をする予定です。**

**All students, graduate students, staff members are welcome !**

## ▶ 次回予告 (next seminar announcement)

2019年10月21日（月）14:00-15:30, ラーニングコモンズ（人間科学研究科北館2F）  
「ドイツ現代社会の今（仮）」

講演者：SHINGO SHIMADA教授（ドイツ・デュッセルドルフ大学）

ドイツの社会や文化に精通した先生のお話を日本語で聴けるチャンスです

問い合わせ先： 吉岡洋子（特任准教授、国際共同研究促進プログラム担当/齊藤弥生研究室）内線8018

大阪大学人間科学研究科 齊藤弥生研究室

Yayoi Saito, Graduate School of Human Sciences, Osaka University

※大阪大学国際共同研究促進プログラム（タイプA）「超高齢社会と国際移民の時代における「ケア」と「社会」と「テクノロジー」のよりよい関係づくりに向けた国際共同研究」の一環で実施しています

This seminar is held as part of Osaka University's International Joint Research Promotion Program (Type A), "International Joint Research of Social Science for Leading Successful Collaboration among "Caring", "Diversity" and "Technology" in the Super-Aging Society".